

大規模地震発生時（震度5弱以上）

の対応について（保存版）

1. 大規模地震発生時（河内長野市で震度5弱以上）の対応について

①登校前（自宅を出る前）

- 河内長野市において、前日の17時以降から自宅を出る前までに「震度5弱以上」の地震が発生した場合、学校は臨時休校とします。
- 通学路や学校に危険がなく、授業ができる状況にある場合は、休校日の翌日より授業を行います。（その場合は、テトルによる配信及びホームページにてお知らせします。）

②登校・下校途中の場合

- もし登下校の途中に地震が起きた場合は、原則として帰宅させます。ただし、学校に近い場合または危険が伴い自宅に帰れない場合は学校に登校し、保護者の迎えを待ちます。

③在校中（学校にいる時）

- 授業を打ち切ります。

学校まで保護者の方に迎えに来ていただきます。

2. 地震発生時（河内長野市で震度4以下）の対応について

- 「震度4以下」の地震が発生した場合は、校区内の被災状況等の安全を確認した上で、通常通り登校させてください。

3. 給食について

- 被害の状況によっては、給食を実施できないこともあります。

4.お願い

- 家庭に連絡がつかない場合がありますので、緊急時の連絡先を担任に連絡しておいてください。
- 下校後は、外出をさせないように十分ご注意ください。
- 家庭におかれましても、日頃より子どもさんと避難先等について十分に話し合っておいてください。

★この対応は、あくまでも原則であり、緊急時には円滑に対応できないことが予想されます。その場合は学校としては児童・生徒の安全を最優先に対応しますので、ご協力下さい。

※参考資料 **震度5弱の地震**について(気象庁震度階級関連解説表より)

人間	・大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
屋内の状況	・電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。 ・座りの悪い置物の大半が倒れる。 ・固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。
屋外の状況	・まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。 ・電柱が揺れるのがわかる。 ・道路に被害が生じることがある。
木造建物	・壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。
ライフライン	・安全装置のあるガスメーター(マイコンメーター)では震度5弱程度以上の揺れで遮断装置が作動し、ガスの供給を停止する。さらに揺れが強い場合には、安全のため地域ブロック単位でガス供給が止まることがある。 ・震度5弱程度以上の揺れがあった地域では、断水、停電が発生することがある。